

令和2年度  
関市景気動向・求人状況調査

結果報告

関市 産業經濟部 商工課

# 令和2年度 関市景気動向・求人状況調査 結果報告

関市 産業経済部 商工課

## ☆調査目的

関市の地場産業である刃物製造業をはじめ関工業団地、関テクノハイランド内の企業のほか市内の様々な業種の製造企業を中心に、建設業、福祉事業、小売業などの産業も含めて景気動向と求人状況について重点的に調査をし、産業振興施策・雇用推進施策の参考とする。特に、従業員50人以上の主要企業など約90企業については、関商工会議所と協力して訪問調査を実施し、景気動向の現況や求人状況などを重点的に調査した。

令和3年3月

☆調査期間 訪問・郵送調査 令和2年10月26日～11月30日

☆調査対象

- ・市内製造企業 418事業所
- ・市内製造業以外の企業 15事業所
- ・合計 433事業所

- ・訪問調査 139事業所（従業員50人以上の事業所を中心とした各業種別主要企業）
- ・郵送調査 340事業所

※訪問調査対象の139事業所のうち、訪問の受け入れ不可事業所は郵送調査に変更

☆回収率 67.7%

- ・訪問調査 93事業所
  - ・刃物関係製造事業所 15事業所
  - ・金属関係製造事業所 40事業所
  - ・金属以外製造事業所 26事業所
  - ・製造業以外の事業所 12事業所
- ・郵送調査 200事業所（対象340事業所）
  - ・刃物関係製造事業所 35事業所（対象49事業所）
  - ・金属関係製造事業所 80事業所（対象142事業所）
  - ・金属以外製造事業所 82事業所（対象146事業所）
  - ・製造業以外の事業所 3事業所（対象3事業所）
- ・合計 293事業所（対象433事業所）
  - ・刃物関係製造事業所 50事業所（対象64事業所）
  - ・金属関係製造事業所 120事業所（対象182事業所）
  - ・金属以外製造事業所 108事業所（対象172事業所）
  - ・製造業以外の事業所 15事業所（対象15事業所）

※前年＝（調査期間）令和元年9月17日～10月18日、（回答）257事業所（対象413事業所）

## ☆調査結果総括

### ◎売上減が増加し、景気は下降。原因は新型コロナウイルス感染症。

売上増と回答する企業が全体で 35 社（13%）と前年の 78 社（33%）より減少し、売上減と回答した企業が 211 社（76%）と前年の 96 社（39%）の倍増となるなど、前年より景気が大きく後退していると思われる。その理由は新型コロナウイルス感染症の影響による世界不況、輸出のストップによる製造の延期や、新型コロナウイルス感染拡大による受注量の減少にある。

関市の地場産業である刃物関係では、売上減と回答する企業が約 7 割、金属関係は、機械器具製造を中心に売上減と回答する企業が 47 社（35%）増加するなど、昨年と比較してより厳しい状況が感じられる。

### ◎売り上げの減少に伴い、収益も減少。

収益増と回答した企業は 33 社（12%）で前年の 71 社（29%）より減少し、収益減と回答した企業は 212 社（77%）と前年の 107 社（44%）より増加しているなど、売上の減少に伴い利益も減少となっている。また、売上高と収益の回答結果から、その状況はほぼ一致しており、受注量の減少により収益の減少という結果をもたらしていると思われる。

### ◎景況感は、製造業全般において約 8 割が悪化と回答。

業界の景況感については、悪化と回答した企業が 212 社（79%）と約 8 割を占め、前年の 132 社（54%）より大幅に増えるなど、景況感が悪い状況となっている。

業種別には、それほど差異はなく、概ね悪化の回答となっており、特に機械・電気機器、衣服、繊維製品、化学工業製品などの業種は 9 割程度が悪化と回答しており、これらの業界においては、特に厳しい状況となっていることがうかがえる。

### ◎求人は金属関係、福祉事業施設などで採用難。

求人採用状況は、プレス・金型などの金属関係は思うように採用できないと回答した企業が多い。

また、製造業以外の業種では、福祉事業施設などもうまくできないと回答している。

### ◎高卒採用 211 人、大卒採用 66 人で前年より減少。

高卒採用が 61 企業（前年 62 企業）で 211 人（前年 240 人）と、前年より採用企業数、採用人数は減っている。高校の学校別には調査回答企業では、関商工、関有知、山県、武義の順に多い採用数となっている。大卒採用も 21 企業（前年 31 企業）で 66 人（前年 90 人）と、前年より採用企業数・採用人数が減少している。

令和 3 年の学卒採用の内定状況は、63 事業所で 269 人の採用予定としており、令和 2 年度採用の 69 事業所で 289 人の採用より減少しており、全国的にも令和 3 年 3 月卒業見込みの大学生の就職内定率（令和 3 年 2 月 1 日現在）は 89.5%と、前年同時期を 2.8 ポイント下回っていることから、近年の学生優位の売り手市場が悪化したとみられる。

また、採用者のうち市内居住者の割合は 35%（前年 30%）となっている。

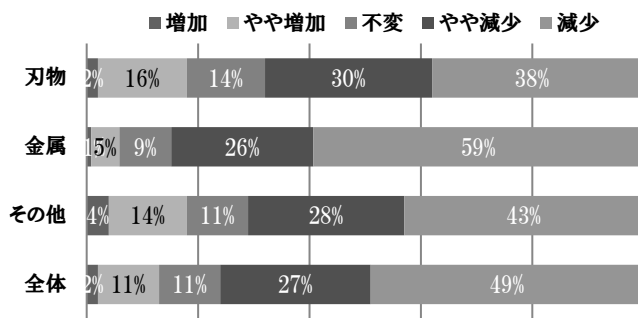
### ◎経営上の問題点は、「人材育成」、「従業員の高齢化」、「従業員不足」、「人件費増加」、「販売不振」。

経営上の問題点としては、【人材育成】が 42%、【従業員の高齢化】が 40%、【従業員不足】が 23%、【人件費増加】が 22%となっており、中小企業の多い関市の製造業の求人が思うように採用できず雇用関係が一番の重要課題であることがうかがえる。

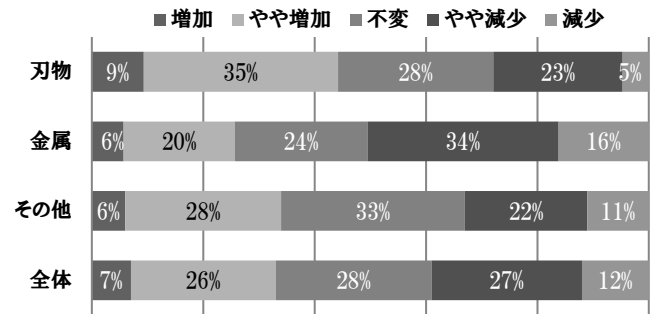
また、【販売不振】が 20%となっており、新型コロナウイルス感染症の影響による売上高の減少が課題となっている。

## ☆調査結果各種データ

### ★売上高（現況 前年と比較して）



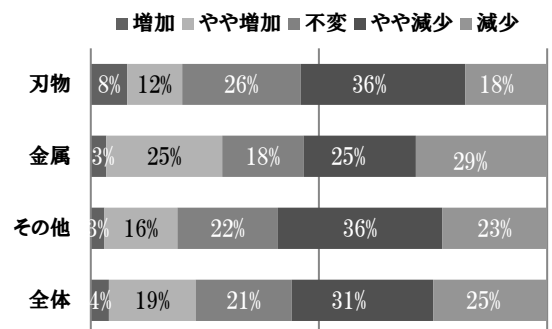
### ★売上高（前年の回答）



### ★売上高（業種別件数、現況 前年と比較して）

業種区分		増加	やや増加	不変	やや減少	減少
刃物	包丁・台所食卓用刃物	1	2	2	7	7
	ハサミ	0	4	3	4	4
	ナイフ・カミソリ・爪切り・その他刃物	0	2	2	4	8
小計 50 (前年 43)		1 (4)	8 (15)	7 (12)	15 (10)	19 (2)
金属	機械・電気器具	0	1	2	6	20
	輸送用器具	0	0	3	3	9
	その他金属製品	1	3	2	11	21
	プレス・金型・焼入・メッキ	0	2	4	10	20
小計 118 (前年 105)		1 (6)	6 (21)	11 (25)	30 (36)	70 (17)
その他	食料品	1	5	2	2	6
	衣服・繊維製品	1	1	0	2	6
	木製品・家具	1	2	2	7	5
	紙製品・印刷	0	2	2	6	12
	化学工業製品	0	4	3	11	15
	窯業土石製品・その他	1	1	3	2	3
小計 108 (前年 94)		4 (6)	15 (26)	12 (31)	30 (21)	47 (10)
製造業合計 276 (前年 242)		6 (16)	29 (62)	30 (68)	75 (67)	136 (29)
製造業以外（建設業・小売業・福祉業等） 11		2	1	2	4	2
総合計 287		8	30	32	79	138

### ★売上高（今後の見通し）



### ◎売上減が増加し、景気は下降。原因は新型コロナウイルス感染症。

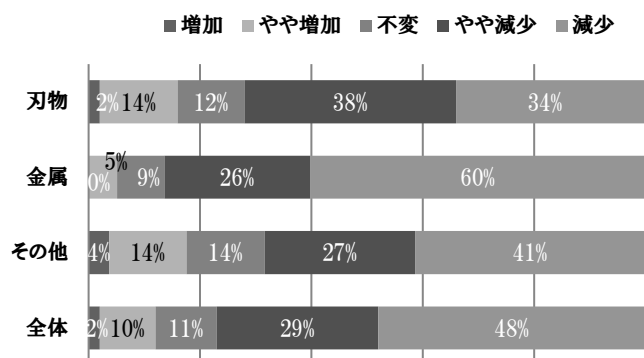
売上増と回答する企業が全体で 35 社（13%）と前年の 78 社（33%）より減少し、売上減と回答した企業が 211 社（76%）と前年の 96 社（39%）の倍増となるなど、前年より景気が大きく後退していると思われる。その理由は新型コロナウイルス感染症の影響による世界不況、輸出のストップによる製造の延期や、新型コロナウイルス感染拡大による受注量の減少にある。

業種別では、特に航空機関連、自動車関連産業や機械器具製造は、新型コロナウイルス感染症の影響による受注の減少や、延期などの影響は大きい。

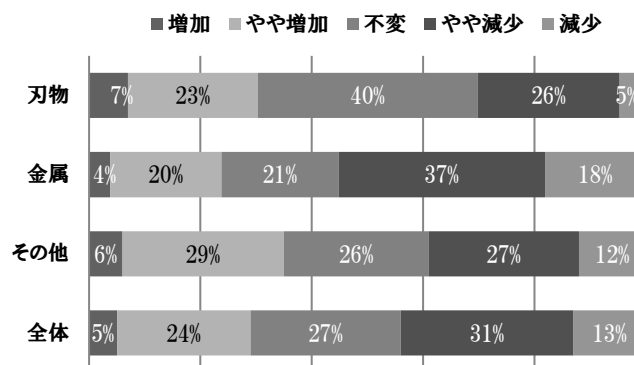
関市の地場産業である刃物関係では、売上減と回答する企業が約 7 割、金属関係は、機械器具製造を中心に売上減と回答する企業が 47 社（35%）増加するなど、昨年と比較してより厳しい状況が感じられる。

今後の見通しについては、刃物、金属、金属以外のどの業種においても、さらに売上減見込みと回答した企業が増加するなど、厳しい見通しとなっている。

## ★収益(現況 前年と比較して)



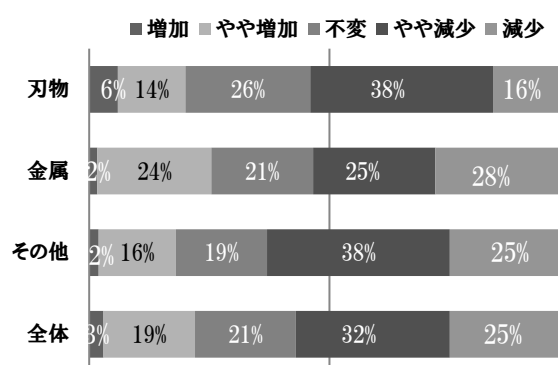
## ★収益(前年の回答)



## ★収益(業種別件数、現況 前年と比較して)

業種区分		増加	やや増加	不変	やや減少	減少
刃物	包丁・台所食卓用刃物	1	2	2	10	4
	ハサミ	0	2	4	5	4
	ナイフ・カミソリ・爪切り・その他刃物	0	3	0	4	9
小計 50 (前年 43)		1 (3)	7 (10)	6 (17)	19 (11)	17 (2)
金属	機械・電気器具	0	2	0	8	19
	輸送用器具	0	0	2	5	8
	その他金属製品	0	2	4	10	22
	プレス・金型・焼入・メッキ	0	2	4	8	22
小計 118 (前年 105)		0 (4)	6 (21)	10 (22)	31 (39)	71 (19)
その他	食料品	1	3	2	4	6
	衣服・繊維製品	1	2	0	3	4
	木製品・家具	0	3	3	7	4
	紙製品・印刷	0	2	2	5	13
	化学工業製品	1	3	5	9	15
	窯業土石製品・その他	1	2	3	1	3
	小計 108 (前年 94)	4 (6)	15 (27)	15 (25)	29 (25)	45 (11)
製造業合計 276 (前年 242)		5 (13)	28 (58)	31 (64)	79 (75)	133 (32)
製造業以外(建設業・小売業・福祉業等) 11		1	1	2	4	3
総合計 287		6	29	33	83	136

## ★収益(今後の見通し)



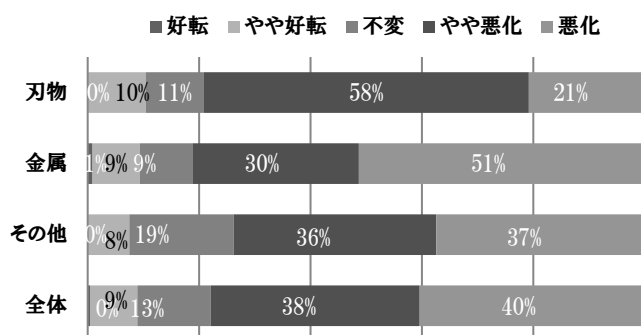
### ◎売上げの減少に伴い、収益も減少。

収益増と回答した企業は 33 社 (12%) で前年の 71 社 (29%) より減少し、収益減と回答した企業は 212 社 (77%) と前年の 107 社 (44%) より増加しているなど、売上の減少に伴い利益も減少となっている。また、売上高と収益の回答結果から、その状況はほぼ一致しており、業種別では、特に金属関係で収益が減少と回答した企業が多く、売上高が減少と回答した企業とほぼ同数であることから、受注量の減少により収益の減少という結果をもたらしていると思われる。

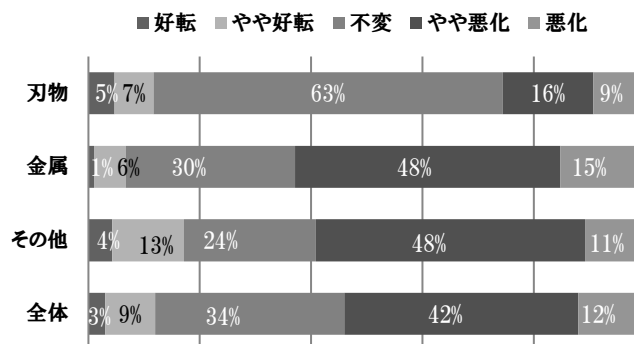
新型コロナウイルス感染症による影響を受ける中においても収益増と回答した企業の中には、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の影響で家庭内消費の増加が要因であるという回答もあったが、新規顧客開拓に成功した企業も含まれる。

今後の見通しは、どの業種も収益の増加については悲観的な見込みであり、今以上に悪化すると回答した企業も多いが、現況において収益増との回答より、今後収益増の見通しであるとの回答の割合が多くなっている。

★業界景況感(現況 前年と比較して)



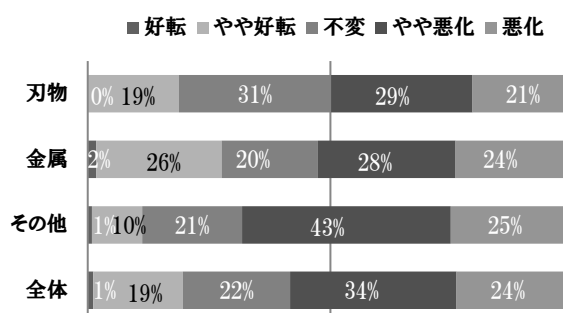
★業界景況感(前年の回答)



★業界景況感(業種別件数、現況 前年と比較して)

業種区分		好転	やや好転	不変	やや悪化	悪化
刃物	包丁・台所食卓用刃物	0	1	2	11	4
	ハサミ	0	2	1	9	3
	ナイフ・カミソリ・爪切り・その他刃物	0	2	2	8	3
小計 48 (前年 43)		0 (2)	5 (3)	5 (27)	28 (7)	10 (4)
金属	機械・電気器具	0	1	1	7	20
	輸送用器具	0	2	2	4	7
	その他金属製品	0	2	5	14	16
	プレス・金型・焼入・メッキ	1	5	3	10	17
小計 117 (前年 105)		1 (1)	10 (6)	11 (32)	35 (50)	60 (16)
その他	食料品	0	1	6	5	3
	衣服・繊維製品	0	1	0	1	8
	木製品・家具	0	1	3	9	4
	紙製品・印刷	0	1	3	6	12
	化学工業製品	0	3	2	17	11
	窯業土石製品・その他	0	1	6	1	2
小計 107 (前年 93)		0 (4)	8 (12)	20 (22)	39 (45)	40 (10)
製造業合計 272 (前年 241)		1 (7)	23 (21)	36 (81)	102 (102)	110 (30)
製造業以外(建設業・小売業・福祉業等) 10		0	0	3	4	3
総合計 282		1	23	39	106	113

★業界景況感(今後の見通し)



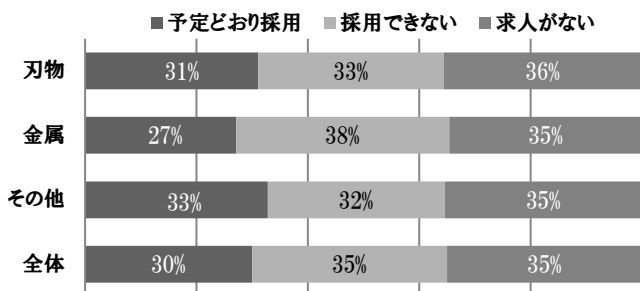
◎景況感は、製造業全般において約 8 割が悪化と回答。

業界の景況感については、悪化と回答した企業が 212 社 (79%) と約 8 割を占め、前年の 132 社 (54%) より大幅に増えるなど、景況感が悪い状況となっている。

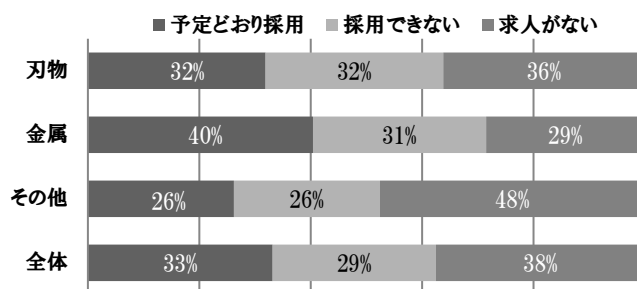
業種別には、それほど差異はなく、概ね悪化の回答となっており、特に機械・電気機器、衣服、繊維製品、化学工業製品などの業種は 9 割程度が悪化と回答しており、これらの業界においては、特に厳しい状況となっていることがうかがえる。

今後の見通しについても、好転と回答した企業が 20%に対し、悪化と回答した企業が 58%になるなど、悲観的な予想が多くなっている。

### ★求人採用状況(現況 前年と比較して)



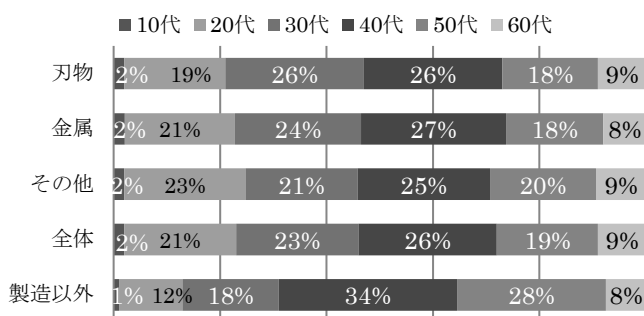
### ★求人採用状況(今後の見通し)



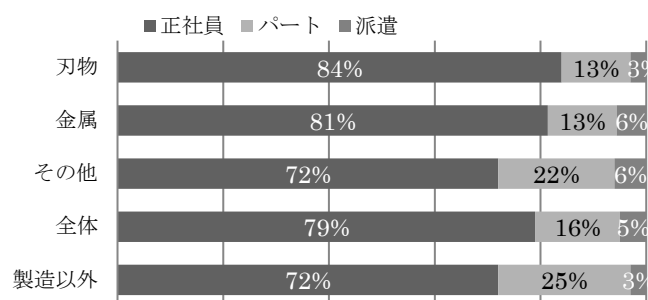
### ★求人採用状況(業種別件数、現況 前年と比較して)

業種区分		予定どおり採用	採用できない	求人がない
刃物	包丁・台所食卓用刃物	8	6	4
	ハサミ	1	5	6
	ナイフ・カミソリ・爪切り・その他刃物	5	4	6
小計 45 (前年 40)		14 (20)	15 (15)	16 (5)
金属	機械・電気器具	9	10	9
	輸送用器具	5	6	2
	その他金属製品	12	15	10
	プレス・金型・焼入・メッキ	3	10	16
小計 107 (前年 98)		29 (33)	41 (44)	37 (21)
その他	食料品	8	2	6
	衣服・繊維製品	3	3	4
	木製品・家具	4	7	6
	紙製品・印刷	4	12	3
	化学工業製品	11	5	16
	窯業土石製品・その他	4	4	2
小計 104 (前年 91)		34 (22)	33 (46)	37 (23)
製造業合計 256 (前年 229)		77 (75)	89 (105)	90 (49)
製造業以外(建設業・小売業・福祉業等) 11		5	5	1
総合計 267		82	94	91

### ★正社員の年齢別構成



### ★正社員・パート・派遣の割合



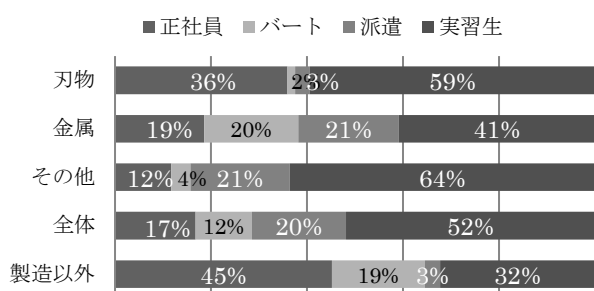
### ◎求人は金属関係、福祉事業施設などで採用難。

求人採用状況は、プレス・金型などの金属関係は思うように採用できないと回答した企業が多い。

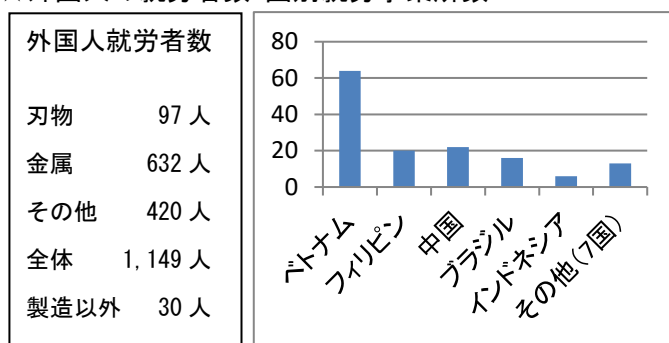
また、製造業以外の業種では、福祉事業施設などもうまくできないと回答している。

正社員・パート・派遣等の割合は、派遣は5%となっており求人採用がなかなか進まないなか、派遣で対応している状況がうかがえる。

### ★外国人の雇用状況



### ★外国人の就労者数・国別就労事業所数



外国人雇用状況は、刃物関係と金属以外の製造業において、実習生の割合が多い。刃物以外の金属製造業では派遣が多く、求人採用ができない部分を外国人派遣で補充していると思われる。また、福祉事業など製造業以外では正社員の割合が多くなっている。

★新規学卒者等の雇用状況（令和2年4月採用実績）

区分	令和2年 学卒採用（人）							令和元年 学卒採用（人）						
	事業所数 (割合)	高卒	専門 学校卒	短大卒	大卒	合計	市内(割合)	事業所数 (割合)	高卒	専門 学校卒	短大卒	大卒	合計	市内(割合)
刃物	10/50 (20%)	29 (9社)	0	1	19 (4社)	49	17 (35%)	12/43 (35%)	29 (11社)	0	0	15 (3社)	44	19 (43%)
金属	36/120 (30%)	124 (31社)	5	3	43 (13社)	175	48 (27%)	35/105 (33%)	151 (32社)	2	4	59 (19社)	216	58 (27%)
その他	23/108 (21%)	58 (21社)	2	1	4 (4社)	65	35 (54%)	23/94 (24%)	60 (19社)	1	1	16 (9社)	78	26 (33%)
合計	69/278 (25%)	211 (61社)	7	5	66 (21社)	289	100 (35%)	70/242 (29%)	240 (62社)	3	5	90 (31社)	338	103 (30%)
製造業 以外	7/15 (67%)	14 (6社)	0	4	17 (4社)	35	13 (37%)	10/15 (67%)	28 (7社)	4	5	32 (7社)	69	22 (32%)

★新規学卒者等の雇用状況（令和3年4月採用予定）

区分	令和3年 学卒採用（人）					
	事業所数 (割合)	高卒	専門 学校卒	短大卒	大卒	合計
刃物	12/50 (24%)	21 (7社)	2	3	15 (5社)	41
金属	28/120 (23%)	100 (25社)	5	2	45 (14社)	152
その他	23/108 (21%)	59 (20社)	2	1	14 (7社)	76
合計	63/278 (23%)	180 (52社)	9	6	74 (26社)	269
製造業 以外	9/15 (60%)	17 (6社)	6	9	10 (4社)	42

★高卒・大卒の採用人数状況（令和2年4月）

採用人数	高 卒	大 卒
1人	27社	14社
2人	13	4
3人	9	1
4人	4	1
5～9人	9	3
10人以上	5	2
計	67社	25社

◎高卒採用211人、大卒採用66人で前年より減少。

今回の調査では、製造業の調査回答企業278企業のうち69企業（25%）で289人を令和2年4月の新規学卒者として採用をしている。前年（242企業回答）の70企業（29%）の338人の採用状況と比較すると、前年より採用人数は減少している。

学歴別では、高卒採用が61企業（前年62企業）で211人（前年240人）と、前年より採用企業数、採用人数は減っている。高校の学校別には調査回答企業では、関商工高校、関有知高校、山県高校、武義高校の順に多い採用数となっている。また大卒採用も21企業（前年31企業）で66人（前年90人）と前年より採用企業数・採用人数が減少している。また、採用者のうち市内居住者の割合は35%（前年30%）となっている。

令和2年4月の新規学卒者の採用と、令和3年4月の新規学卒者の採用予定がともに有りと回答した企業は53企業で、うち39企業は正社員の人数が50人以上の企業であり、ともに0（ゼロ）と回答した企業は148企業で、そのうち139企業は正社員の人数が50人未満の企業であり、企業の規模により、採用には差があることがわかる。

令和3年の学卒採用の内定状況は、63事業所で269人の採用予定としており、令和2年度採用の69事業所で289人の採用より減少しており、全国的にも令和3年3月卒業見込みの大学生の就職内定率（令和3年2月1日現在）は89.5%と、前年同時期を2.8ポイント下回っていることから、近年の学生優位の売り手市場が悪化したとみられる。



## ★インターンシップの受入れ状況

◎受入れ可能・見学のみ可能企業

区分	可能	見学のみ	合計	割合(%)
刃物	13	2	15/50	30
金属	39	12	51/120	43
その他	24	10	34/108	31
製造業以外	6	1	7/15	47
合計	76	24	100/293	34

◎受入れ人数別の企業数

区分	1人	2人	3人	4人以上
刃物	4	1	3	2
金属	4	24	6	6
その他	8	6	1	1
製造業以外	0	1	1	3
合計	16	32	11	12

◎受入れ日数別の企業数

区分	1日	2日	3日	4日以上
刃物	0	2	4	3
金属	4	8	4	20
その他	3	2	2	8
製造業以外	1	0	1	3
合計	8	12	11	34

◎インターンシップ受入れ可能企業のうち、受入れ実績とインターンシップ参加者の採用実績

区分	インターンシップ 毎年受入れ	採用実績あり	実績なし	インターンシップ 過去受入れ	採用実績あり	実績なし	インターンシップ 実績なし
刃物	5	2	3	7	0	7	3
金属	15	7	8	16	10	6	16
その他	15	5	10	8	1	7	9
製造業以外	3	1	2	1	0	1	1
合計	38	15	23	32	11	21	29

◎インターンシップ受入れ可能企業は、100社（34％）。

高校生や大学生のインターンシップは、受入れ可能と回答した企業が76社、見学のみ可能が24社の合計100社（34％）であった。受入れ条件については、人数は2人と回答した企業、日数は4日以上と回答した企業が多い。

インターンシップの受入れ後に採用につながっている企業もあり、これまでにインターンシップの受入れ実績がない企業の中にも、今後受入れの検討をしたいと回答した企業は42社あった。

また、インターンシップの受入れ不可と回答した企業は95社であったが、約8割が小規模企業者である。

## ★外部人材活用

※優秀な外部人材（副業・兼業プロ人材等）のスキルや知見をシェアすることで地方企業の人材不足と課題解決を図るしくみ

区分	活用したい	手段がわからない	予定はない	外部人材がわからない	その他	対象企業
刃物	3	4	33	6	2	48
金属	10	13	72	15	2	112
その他	7	8	75	12	2	104
製造業以外	2	2	6	1	0	11
合計	22	27	186	34	6	275

■活用したい ■手法わからない ■予定なし ■わからない ■その他

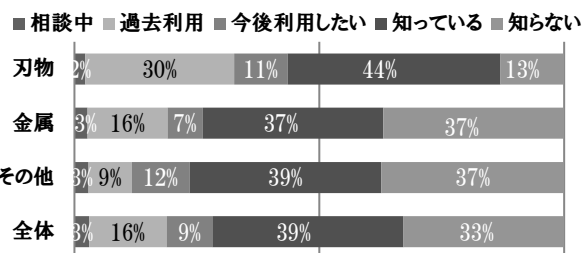


◎外部人材の活用を希望する企業は45社（17％）

外部人材の活用については、活用する予定はないとの回答が多かったが、製造業で45社（17％）は外部人材活用について積極的な回答であった。外部人材とは何かがわからないとの回答もあり、外部人材の活用についての周知や情報提供が必要である。

## ★セキビズについて ※セキビズ=関市ビジネスサポートセンター

区分	相談中	過去利用	今後利用したい	知っている	知らない	対象企業
刃物	1	14	5	20	6	48
金属	3	18	8	41	41	112
その他	3	9	12	40	38	104
製造業以外	0	1	2	6	1	11
合計	7	42	27	107	86	275

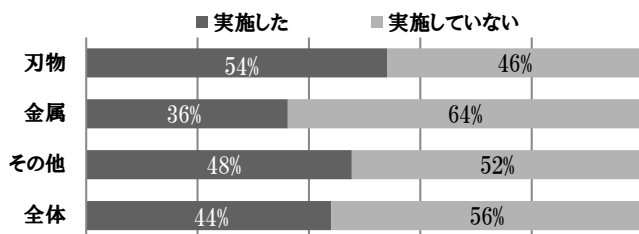


◎セキビズへの相談企業の割合は、刃物関係企業が高く15社（32%）。

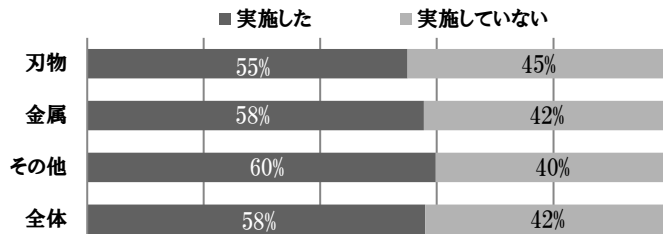
セキビズへの相談は49企業が行っており、中でも刃物関係企業の相談は15社（32%）であった。セキビズの認知度も、全体では33%がセキビズを知らないと回答する中、刃物関係は13%であり、刃物関係企業への認知度は高いと思われる。

今後利用を希望する企業は27社あり、各企業の課題に応じた支援につなげる必要がある。

## ★設備投資（現況）



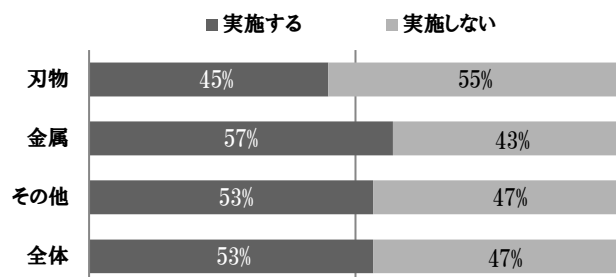
## ★設備投資（前年の回答）



## ★設備投資（業種別件数、現況）

業種区分		実施した	実施していない
刃物	包丁・台所食卓用刃物	9	10
	ハサミ	7	8
	ナイフ・カミソリ・爪切り・その他刃物	11	5
	小計 50 (前年 40)	27 (22)	23 (18)
金属	機械・電気器具	11	18
	輸送用器具	6	8
	その他金属製品	14	24
	プレス・金型・焼入・メッキ	11	24
小計 116 (前年 102)	42 (59)	74 (43)	
その他	食料品	9	7
	衣服・繊維製品	4	6
	木製品・家具	6	11
	紙製品・印刷	7	15
	化学工業製品	21	11
	窯業土石製品・その他	4	6
小計 107 (前年 92)	51 (55)	56 (37)	
製造業合計 273 (前年 234)		120 (136)	153 (98)
製造業以外（建設業・小売業・福祉業等）10		4	6
総合計 283		124	159

## ★設備投資の予定（今後の見通し）



◎設備投資実施企業は、124社（44%）

設備投資を実施した企業は124社（44%）で、前年の58%に比べ実施企業は減少している。業種別には刃物関係が27社（54%）、金属関係が42社（36%）、その他製造が51社（48%）、製造以外が4社（48%）で、金属関係は他の業種に比べて低い割合となっている。また、訪問調査の聞き取りにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響により更新を延期したと回答した企業もあった。

今後の設備投資についても実施すると回答した企業が全体で53%と半数を上回っている。

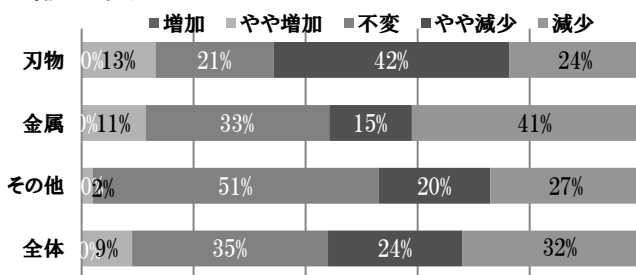
## ★新規立地等の意向

区分	現在検討	2～3年中に検討	いずれも検討	合計	割合(%)	区分	増設	建替え	移転
刃物	7	2	2	11/50	22	刃物	6	1	3
金属	9	5	18	32/120	27	金属	14	7	7
その他	8	3	12	23/108	21	その他	14	2	5
製造業以外	1	0	1	2/15	13	製造業以外	0	2	0
合計	25	10	33	68/293	23	合計	34	12	15

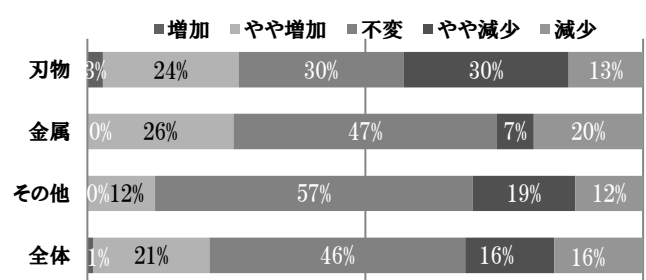
区分	現敷地内	1,000坪以下	1,000～3,000坪	3,000～10,000坪	10,000坪以上
刃物	2	3	4	0	0
金属	6	4	4	1	0
その他	5	6	1	1	2
製造業以外	0	0	0	0	0
合計	13	13	9	2	2

工場の増設などの新規立地の意向は、現在検討中が 25 社、今後検討を含めて 68 社（23%）が検討中である。内訳は増設が 34 社、建替え・移転が 27 社となっている。

## ★輸出高（現況 前年と比較して）



## ★輸出高（今後の見通し）

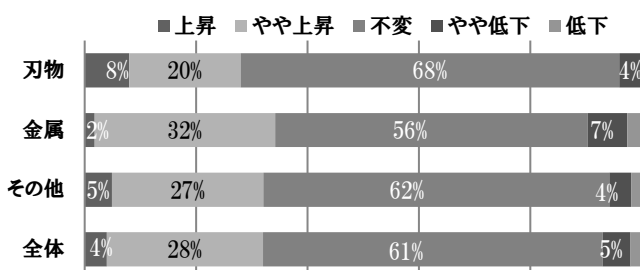


◎輸出高は、刃物、金属関係で大きく減少。

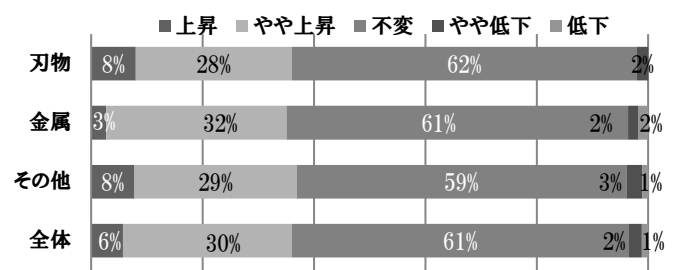
今回の調査対象企業のうち、輸出高の回答があった企業は、148 企業（総回答数の 53%）で、うち刃物関係が 38 企業、金属関係が 61 企業、金属以外のその他の業種が 49 企業である。

輸出高が減少と回答した企業が、刃物関係では 66%（前年 30%）、金属関係では 56%（前年 47%）と増えており、新型コロナウイルス感染症の影響が大きいと思われる。

## ★原材料価格（現況 前年と比較して）



## ★原材料価格（今後の見通し）

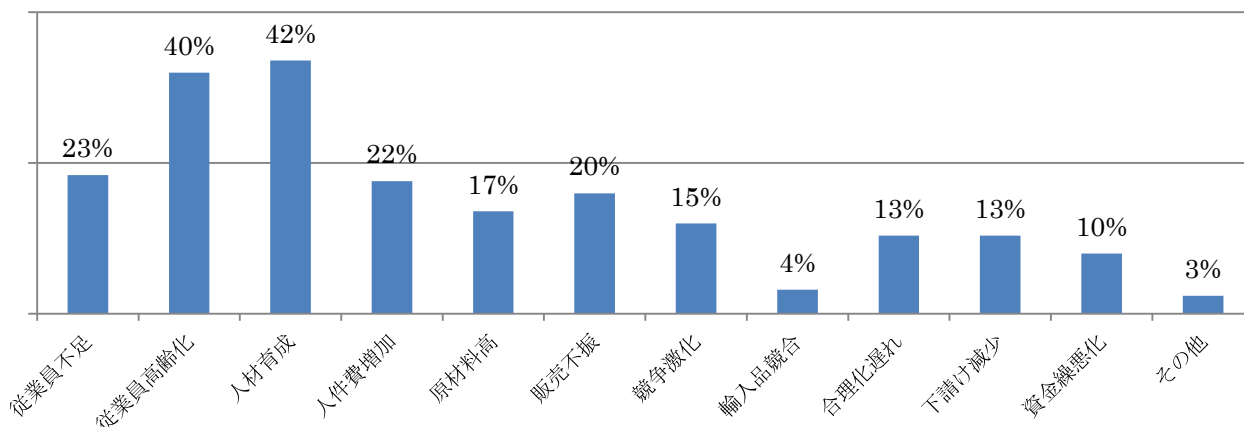


◎原材料価格は、61%が不変と回答し、高止まりの傾向。

原材料価格が不変と回答した企業は 61%（前年 25%）と拡大し、昨年は 68%であった上昇との回答が今年は 32%であることから、上昇した原材料価格は高止まりの模様である。

今後の見通しも回答割合は現況と同様で、原材料高は今後も続くことが見込まれるなか、製品価格への転嫁はなかなか難しく、経営上の大きな問題点となっている。

## ★経営上の問題点（複数回答可）



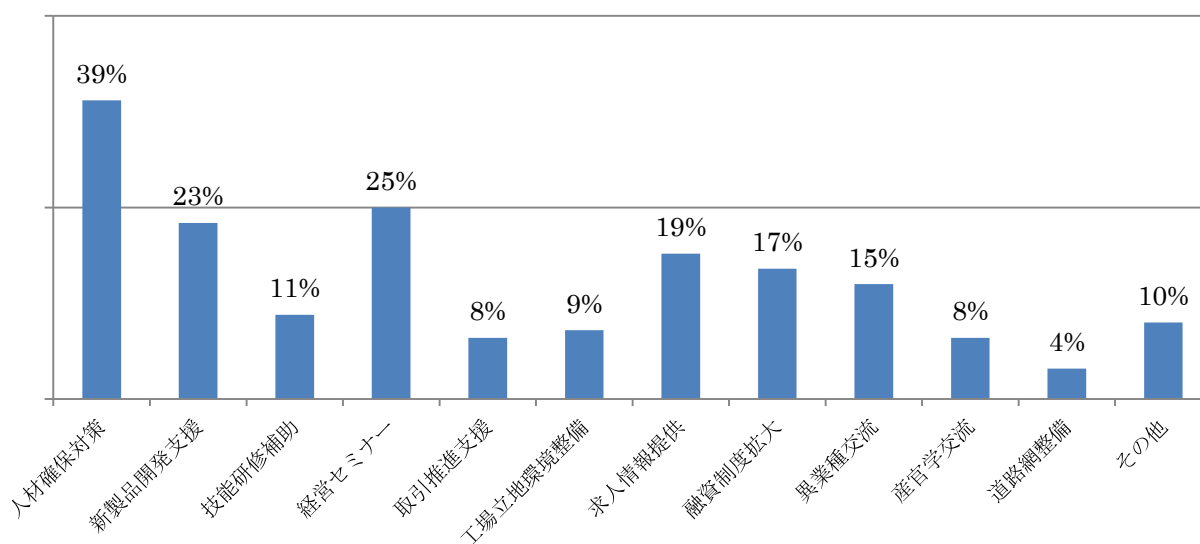
◎経営上の問題点は、「人材育成」、「従業員の高齢化」、「従業員不足」、「人件費増加」、「販売不振」。

経営上の問題点としては、【人材育成】が42%、【従業員の高齢化】が40%、【従業員不足】が23%、【人件費増加】が22%となっており、中小企業の多い関市の製造業の求人が思うように採用できず雇用関係が一番の重要課題であることがうかがえる。

また、【販売不振】が20%となっており、新型コロナウイルス感染症の影響による売上高の減少が課題となっている。

刃物関係の業種では、48%の企業が【下請け業者の減少】を経営上の問題として捉えており、技能者の高齢化や、後継者不足などにより下請け業者が減少し、関の刃物産業の特徴であった分業制の継続が難しくなっている状況が伺え、自社工場の内製化が課題となっている。

## ★行政への要望（複数回答可）



◎行政への要望の一番は、「人材確保対策」

行政への要望としては、【人材確保対策】が全体の39%と昨年同様最も多い要望となっており、商工課内「みんなの就職サポートセンター」において、高校生・大学生の市内企業へ就職促進をはじめ、ハローワークや岐阜県人材確保センターと連携した求人対策支援を進めているところである。

また、【経営セミナー】の要望が、昨年6%であったところ今年度は25%と要望が高くなっていることから、中小企業の経営について、専門的な知識や支援が受けられる取り組みが必要である。